

# 第1回大阪マラソン組織委員会

日 時 平成22年9月10日（金） 15時～

場 所 ホテル プリムローズ大阪 2階鳳凰

出席者 （資料1のとおり）

次 第 ○ はじめに

○ 議 事

- 1 役員を選任について
- 2 第1回大阪マラソンの概要について
- 3 大阪マラソンのシンボルマーク・スローガン等について
- 4 大阪マラソンの経済波及効果について
- 5 今後の主なスケジュールについて
- 6 その他

○ おわりに

## 【配布資料一覧】

- |                         |       |
|-------------------------|-------|
| ■ 第1回大阪マラソン組織委員会出席者名簿   | 《資料1》 |
| ■ 大阪マラソン組織委員会設置要綱       | 《資料2》 |
| ■ 第1回大阪マラソンの概要          | 《資料3》 |
| ■ 大阪マラソンのシンボルマーク・スローガン等 | 《資料4》 |
| ■ 第1回大阪マラソン経済波及効果予測     | 《資料5》 |
| ■ 今後の主なスケジュール           | 《資料6》 |
| ■ 大阪城ファミリーラン【開催概要】      | 《資料7》 |
| ■ 大阪マラソン チャリティー専門部会（案）  | 《資料8》 |

## 大阪マラソン組織委員会設置要綱

### (設置)

第1条 大阪マラソン開催に必要な事業・運営計画の検討・実施など、その具体的な開催業務を推進していくため、大阪マラソン組織委員会(以下、「委員会」と言う。)を設置する。

### (所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 大阪マラソン開催にかかる事業・運営計画の検討・実施及び同マラソンの開催に伴い実施する関連事業の企画・実施
- (2) その他、前項の目的を達成するために必要な事項

### (組織)

第3条 委員会は、別表に掲げる委員をもって組織する。

2 委員会に会長、副会長を置き、委員の互選によりこれらを選出する。

### (任期)

第4条 委員の任期は平成23年3月31日までとする。

2 委員会の委員は会長が委嘱する。

### (会長及び副会長の職務)

第5条 会長は、委員会を代表し、委員会を総理する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、あらかじめ会長が指名する副会長がその職務を代理する。

### (会議)

第6条 委員会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 会議は委員の過半数の出席をもって成立し、出席委員の過半数をもって議決する。

なお、可否同数のときは、議長が決する。

3 会議に出席できない委員は、書面または代理人をもって表決に加わることができる。

4 前項の場合には、第2項の規定の適用については、出席したものとみなす。

### (関係者の出席)

第7条 委員会が必要であると認めた場合は委員以外の関係者の出席を求め、その意見等を聴取することができる。

### (専門部会等の設置)

第8条 委員会の事務を補助させるため、委員会に専門部会を置くことができる。

2 専門部会は、会長の命を受け、必要な事項を調査検討し、会長に報告する。

(事務局)

第9条 事業の遂行に必要な事務処理を行うため、大阪府中央区大手前三丁目1番43号  
大阪府新別館北館地下1階に事務局を置く。

2 事務局には事務局長その他の職員を置く。

3 事務局長は、会長の命を受け、委員会の業務を総括的に処理する。

4 事務局長は、会長が任命する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の実施に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成22年9月10日から施行する。

## 別表(第3条関係)

役職	氏名	所属
顧問	橋下 徹	大阪府知事
顧問	平松 邦夫	大阪市長
顧問	長田 義明	大阪府議会議長
顧問	荒木 幹男	大阪市会議長
委員	横川 浩	大阪陸上競技協会会長
委員	木村 慎作	大阪府副知事
委員	北山 啓三	大阪市副市長
委員	薬師寺 茂夫	大阪陸上競技協会理事長
委員	中村 仁	読売新聞大阪本社代表取締役社長
委員	森田 昭信	大阪市地域振興会会長
委員	光田 政志	大阪府商店街連合会会長
委員	辰野 邦次	大阪府商店街振興組合連合会理事長
委員	角 正基	大阪市商店会総連盟理事長
委員	下妻 博	社団法人関西経済連合会会長
委員	佐藤 茂雄	大阪商工会議所会頭
委員	山中 諄	社団法人関西経済同友会代表幹事
委員	津田 和明	財団法人大阪観光コンベンション協会会長
委員	町田 勝彦	財団法人大阪体育協会会長
委員	倉田 薫	大阪府体育連合会会長
委員	松本 正美	大阪府体育指導委員協議会会長
委員	新堂 友衛	大阪市体育協会会長
委員	首藤 俊二	大阪市体育厚生協会会長
委員	中山 省治	大阪市体育指導委員協議会会長

役 職	氏 名	所 属
委員	中村 眞	財団法人大阪市スポーツ・みどり振興協会理事長
委員	橋爪 静夫	大阪府障がい者スポーツ振興協会会長
委員	魚住 誠一	社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会理事長
委員	伯井 俊明	社団法人大阪府医師会会長
委員	上総 周平	国土交通省近畿地方整備局長
委員	原 喜信	国土交通省近畿運輸局長
委員	大橋 光博	阪神高速道路株式会社代表取締役社長
委員	福田 昌弘	大阪府府民文化部長
委員	新井 純	大阪府府民文化部都市魅力創造局長
委員	北川 憲一郎	大阪府教育委員会事務局教育振興室副理事兼保健体育課長
委員	野々村 節子	大阪市ゆとりとみどり振興局長
委員	宮崎 靖	大阪市ゆとりとみどり振興局スポーツ部長
委員	足立 尚	大阪陸上競技協会副理事長
委員	北田 耕之	大阪陸上競技協会副理事長
委員	竹内 章	大阪陸上競技協会副理事長

## 「第 1 回大阪マラソン」の概要

- 1 大会名 「第 1 回大阪マラソン ～OSAKA MARATHON 2011～」
- 2 開催日 平成 23 年 10 月 30 日（日）
- 3 主催 大阪府・大阪市・大阪陸上競技協会
- 4 主管 大阪陸上競技協会
- 5 共催 読売新聞社
- 6 後援  
＜予定＞ 大阪市地域振興会、大阪府商店街連合会、大阪府商店街振興組合連合会、大阪市商店会総連盟、（社）関西経済連合会、大阪商工会議所、（社）関西経済同友会、（財）大阪観光コンベンション協会、（財）大阪体育協会、大阪府体育連合、大阪府体育指導委員協議会、大阪市体育協会、大阪市体育厚生協会、大阪市体育指導委員協議会、（財）大阪市スポーツ・みどり振興協会、大阪府障がい者スポーツ振興協会、（社福）大阪市障害者福祉・スポーツ協会、（社）大阪府医師会、国土交通省近畿地方整備局、国土交通省近畿運輸局、阪神高速道路株式会社  
(順不同)
- 7 種目 フルマラソン  
併設レース：車いすマラソン（フル）  
チャレンジラン ＜検討中＞
- 8 参加人数 30,000人（最大）
- 9 制限時間 7 時間（最大）
- 10 コース スタート : 大阪城公園前  
フィニッシュ：インテックス大阪  
主な通過点 : 御堂筋・道頓堀・中之島・大阪市中央公会堂  
京セラドーム大阪・なんば駅・通天閣周辺  
南港周辺など
- 11 エントリー 平成 23 年 2 月～ ＜予定＞

## 《お問合せ先》

大阪マラソン組織委員会事務局

TEL（お問合せ専用）：06-6944-1250

お問合せ時間：月～金曜日 9：00～18：00

（ただし、祝日及び 12/29～1/3 は休業です。）

## 「大阪マラソン」シンボルマーク、スローガン等について

<シンボルマーク>

<スローガン>

<ロゴタイプ>



このシンボルマークは、「走(そう・はしる)」という文字をモチーフに、疾走するランナーを大阪マラソンのテーマカラーである7色を使って躍動感豊かに表現したものです。

また、スローガンである「みんなでかける虹」は、「虹をかける」の「架ける」と「走る」の「駆ける」を掛け合わせたものです。

<コンビネーションシンボル>



このコンビネーションシンボルは、協賛企業さまが自社のPRとともに大阪マラソンをPRいただく際にご活用いただくものです。

## 「第 1 回大阪マラソン」経済波及効果予測

### 「第 1 回大阪マラソン」の開催により、約 124 億円の経済波及効果が期待

3万人ものランナーが大阪の名所・旧跡を疾走する「第 1 回大阪マラソン」の開催は、大阪府のみならず関西地域の活性化にも大きく貢献するものと期待されています。

関西大学大学院会計研究科 宮本勝浩教授によると、約 124 億円の経済波及効果が見込めるとのことです。

本経済波及効果予測は、海外からの参加を含む 3 万人のランナー、沿道の観客、大会関係者、ボランティア、メディア、スポンサー関係者などの消費支出や、大会グッズの売り上げなどを、関西大学独自に調査したデータに基づいて算出されたものです。

#### 【「第 1 回大阪マラソン」経済波及効果予測 概要】

- ① 直接効果：100 億 6,511 万円
1. 大会参加者による消費支出
    - (1) ジョギングやマラソン愛好者の大会観戦者の消費支出 約 9.9 億円  
(例) 76,500 人の観戦者を想定 (愛好家人口 (レジャー白書) の 2,550 万人を参考)
    - (2) ランナー関係の観戦者の消費支出 約 10.6 億円  
(例) 6 万人の応援観戦者を想定 (ランナー一人あたり家族、友人など平均 2 人が応援)
    - (3) 一般観戦者の消費支出 約 59.4 億円  
(例) 113 万人の観戦者を想定 (東京マラソンの観戦者 (166 万人) を参考)
    - (4) 前夜祭「コナモン・ローディングパーティー」などの消費支出 約 0.08 億円  
(例) 2,000 人の関係者が参加と想定
    - (5) マラソンランナーの消費支出 約 5.3 億円  
(例) 府外からの参加者を 11,000 人と想定
    - (6) メディア関係者の消費支出 約 0.1 億円
    - (7) ボランティアの消費支出 約 0.2 億円  
(例) 府内から 9,000 人、府外から 1,000 人と想定
    - (8) スポンサー関係者の消費支出 約 0.3 億円
    - (10) 大会関係者の消費支出 約 0.02 億円
  2. 大会グッズ (T シャツ、記念品等) の売上高 約 3 億円
  3. 関係企業独自の支出 約 1.5 億円
  4. 大会運営組織による支出 約 10.2 億円
- ② 一次波及効果、二次波及効果：23 億 2,500 万円

**①+②=123.9 億円**

※マラソンが実施される間の約 6~7 時間の交通の不通や渋滞が発生時のマイナスの経済効果は考慮せず



## 今後の主なスケジュール

- H22年9月10日(金) ■第1回「大阪マラソン組織委員会」  
○第1回大阪マラソンの概要について  
○大阪マラソンのシンボルマーク・スローガン等  
など
- H22年10月24日(日) ■第1回大阪マラソン開催1年前イベント  
「大阪城ファミリーラン」の実施
- H23年1月 ■第2回「大阪マラソン組織委員会」  
○「第1回大阪マラソン」大会要項発表  
※マラソンコース詳細発表  
※関連イベント(お祭り、マラソンEXPO等)発表
- H23年2月 ■参加者(ランナー)募集開始
- H23年10月30日(日) 「第1回大阪マラソン」開催

第1回大阪マラソン 開催1年前イベント  
大阪城ファミリーラン  
【開催概要】

タイトル：第1回大阪マラソンまで、あとほぼ1年！ 大阪城ファミリーラン

会場全体図：

実施目的：本イベントを実施することにより第1回大阪マラソンの開催機運を盛り上げ、府民及び全国へ大きく情報発信する。

開催日時：平成22年10月24日 日曜日 11:00～

場所：大阪城公園 大手前芝生広場

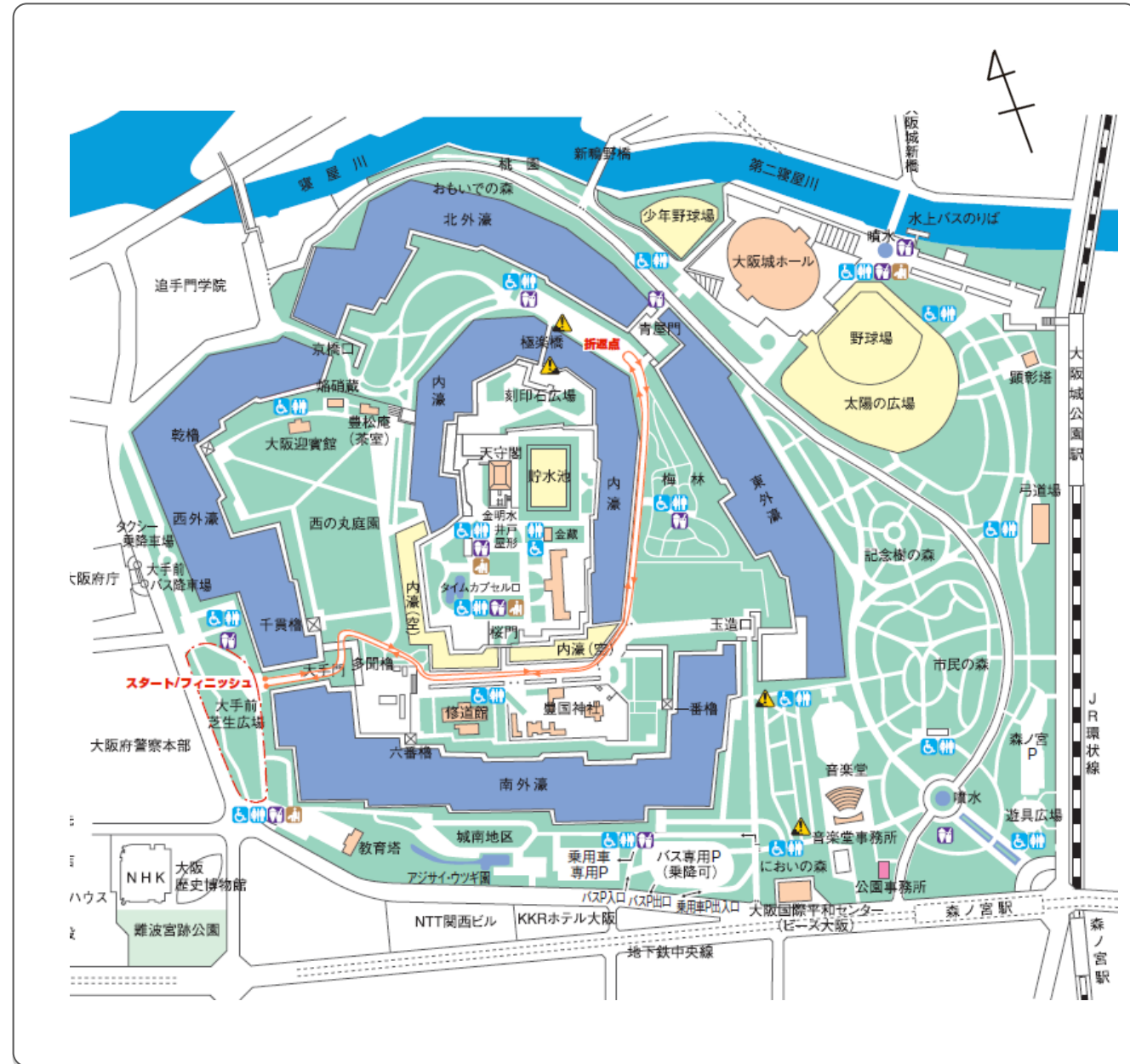
出演者：横川浩 大阪陸上競技協会会長  
橋下徹 大阪府知事  
平松邦夫 大阪市長

主催：大阪マラソン組織委員会

開催内容：■大阪マラソン概要紹介&トークショー  
■残日計点灯  
■大阪城ファミリーラン  
■お楽しみ抽選会  
■フォトセッション  
(■囲み取材)

【大阪城ファミリーラン 概要】

- ◎参加人数： 家族1組4名まで(合計1,000名)
- ◎参加料： ¥1,000- / 1組(当日、受付にて支払い)
- ◎コース： 大阪城公園内約2km
- ◎募集方法： 応募者各自で往復ハガキを購入し、必要事項を記載し応募。事務局にて抽選を実施。当選者および落選者に返信ハガキにて当落を通知する。



【応募受付窓口】  
〒540-8570  
大阪府中央区大手前三丁目1番43号 大阪府新別館北館地下1階  
大阪マラソン組織委員会事務局 担当：総務企画部  
TEL:06-6944-7139 FAX:06-6944-7509

## 大阪マラソン チャリティー専門部会(案)

### ■ 専門部会構成

有識者【座長】、有識者(チャリティー関係)、読売新聞社、電通関西支社

※大阪マラソン組織委員会事務局は、オブザーバーとして参画

### ■ 検討内容

・専門部会メンバー選定

・7色のチャリティーテーマ

(例)「水」、「緑化」、「健康」、「平和」 など

・寄付先団体選定

・寄付金フロー、スキーム など

### ■ 主なスケジュール(案)

平成23年1月 第2回「大阪マラソン組織委員会」の場において、上記検討  
内容等チャリティー事業の内容を報告

平成23年10月 大阪マラソン2011開催

平成24年1月 チャリティー事業の結果の公表